

令和2年度 認定こども園 高松東幼稚園 自己点検・自己評価（公表シート）

実施期日〈令和3年3月25日〉

1. 本園の教育・保育目標

○**建学の精神** 「研究的幼稚園」「理想的幼稚園」「非営利的幼稚園」

○**教育・保育目標** 「じょうぶな身体を育てる・豊かな心を育てる・創造する力を育てる」

○**育てたい子ども像**

- ・少しのことで疲れず、友達といっしょにしんぼう強くよく考えて遊ぶ子
- ・きちんとすることと、のびのびすることとの両立ができる子
- ・基本的な生活習慣、態度を身に付け、自分に対する自信をもつことができる子

○**保育者の基本的姿勢**

- ・一人ひとりの子どもが“大切にされている”と実感できるような子どもと保育者の信頼関係を構築すること
- ・時代の変化に対応する教育・保育内容を創意し、それを計画的に環境として構成すること
- ・保育者の特性を生かし、協力体制を生かすチーム保育により、よりきめの細かい保育を目指すこと

2. 本年度の重点項目とその設定理由

1. 幼保連携型認定こども園としての運営

- 0～5歳児までの教育・保育の充実
- 2・3号認定児の教育・保育課程の確立と実践
- 施設・設備の整備
- 人材の確保

（設定理由）これまでの実践から得られたことを総括し、0～5歳児までの連続性のある教育・保育課程を確立させる。特に0～2歳児保育に関しては、施設・設備の整備を更に進めて、環境面も充実させていく。受け入れ定員を満たし、長時間保育や土曜保育にも対応する為に十分な保育教諭の人数確保が必要である。

2. 保育の質の向上

- 教育・保育課程、環境の見直しと改善
- 園内・外研修の充実

（設定理由）幼児教育・保育の無償化に伴い、教育・保育の質がこれまで以上に問われるようになってきている。様々な知識・技能を身に付けられるような園内研修を実施し、園外研修への参加も教員の偏りがないように機会を設け、全体のレベルアップを図らなければならない。

3. 子育て支援事業の推進

- 様々な保育ニーズ(長時間保育・土曜保育)への対応

（設定理由）核家族、共働き世帯の割合が年々増しており、1号認定児の一時預かり保育・朝夕の園長保育・土曜保育等、各家庭の事情に応じた時間の保育が求められている。

3. 重点項目の取組み状況と自己評価

重点項目		取組み状況	自己評価 (5段階)
1	0～5歳児までの教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園に移行してからの4年間の実践から得られたことを総括し、0～5歳児までの連続性のある教育・保育課程の確立を目指した。園内カンファレンス等で、子どもの育ちについて話し合いながら情報を共有し、各年齢の保育が繋がっていることを意識できるように取り組んだ。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で5月末まで登園自粛を要請し、少人数での保育となり、日頃はなかなか行えないような異年齢での活動を充実させた。その後も、感染症対策を講じたうえで、年間カリキュラムに沿って出来る限りのことを実施していった。各種行事についても、例年とは違う方法で保護者の参加人数を制限するなどして実施した。 	3
	2・3号認定児の教育・保育課程の確立と実践	<ul style="list-style-type: none"> ・2号認定児の午後からの教育・保育については、午睡やおやつなどの生活をどのように進めるかが中心にはなるが、家庭的な雰囲気大切にしながら子どもたちがより良い経験を得られるように、それぞれの年齢に応じた遊びや活動を計画した。利用人数の増加に対応できるような運営の工夫が求められる。 ・3号認定児の教育・保育については、日常の保育だけではなく各行事に関しても、保育アドバイザーの秋山通子先生からご指導いただき、環境や内容を改善していった。 	3
	施設・設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が降園後に空間除菌装置を稼働させ、手が触れる箇所や玩具をアルコール消毒するなどして、感染症対策を行った。室内換気も十分に行い、結果、今年度はインフルエンザによる欠席者も0人に終わり、その他の感染症の拡がりもなかった。 ・安全・防犯対策として、事務室から見通しの良くない第2園庭とバス発着場に防犯カメラを増設した。 ・3階ホールの音響設備の改修工事を行い、これまでの音響環境の悪さが改善された。読み聴かせ会の公演等の各種行事で活用している。 ・第2園庭の土質は改善できていないが、遊具を一つ導入して、少しずつ整備を進めている。 ・北館保育室等の照明器具をLEDに取り換えた。これで、園の照明器具のほぼ全てをLEDにできた。 	3
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤保育教諭1名が年度途中で産休に入った為、非常勤補助員を1名採用し、対応した。勤務時間が短く時間帯も固定されている非常勤者を常勤者の代替とするには多少無理があり、周りの教職員の負担増となる。人事に関する課題の一つである。 ・次年度に向けては、新卒者2名を確保することができた。 	3

2	教育・保育課程、環境の見直しと改善	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を最優先しての生活となり、既存の教育・保育課程通りには行えない部分が多々あった。各種行事についても、中止したものや例年とは違うやり方で開催したものがあつた。工夫して実践してみて新たに気付いた点を今後の改善に役立てていく。 ・時代や社会情勢の変化に応じて、ICTの活用等にも取り組んでいく必要があると思われる。 	3
	園内・外研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていた園外研修のほとんどが中止となった。公開保育形式の園内研修も今年度は中止した。香川県私立幼稚園連盟主催のビデオ研修は、園内で数日に分けて行い、常勤保育教諭全員が参加した。 	2
3	様々な保育ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・南館1階の1部屋を低年齢児仕様に改装し、2歳児の高月齢クラス20名の保育室とした。低月齢クラス16名はこれまでと同じ東館の保育室で過ごし、子どもの人数に対する部屋の狭さの問題は解消された。結果、0・1・2歳児全体で、定員を満たす66名を受け入れることができた。 ・1号認定児の一時預かりの利用者が増えており、すみれ組の運営が東館2階だけでは手狭になってきた。人数が多い午後のおやつまでの時間帯は、すみれ組の年少児は南館1階の保育室2部屋で過ごすようにした。子どもたちにも保育者にも負担がかからないような運営方法を今後も考えていく。 	3

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
施設・設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・第2園庭の整備を進め、0・1・2歳児も安心・安全にしっかり身体を動かして遊べるような保育環境をつくっていく。 ・園全体の保育室の使い方を工夫して、すみれ組(2号認定児の午後保育、1号認定児一時預かり保育)の人数の増加に対応する。
人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を満たす人数を受け入れられるよう教職員を配置する。早期に新卒採用活動を開始し、優秀な人材確保に努める。 ・長時間の保育や土曜保育のニーズに対応したうえで、教職員の勤務に無理が生じないようにする必要がある。産休・育休保育教諭の代替者の確保が難しい。
教育・保育内容の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・特に2・3号認定児の教育・保育について、より具体的な教育・保育課程を確立させ、質の向上を図る。 ・既存の教育・保育課程を基本に据えながらも、より良いものを目指し、見直しや改善をしていく。各活動や園行事の在り方等についても再検討し、精選していく。
子育て支援事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・従来から実施している「たんぼぼ」(親子参加型活動)や「TJ教室」(未就園児教室)の内容をより充実させ、可能な限り回数を増やす。入園希望者の見学も兼ねて、園庭開放は0歳児から希望に応じる。様々な人が来園できる機会をつくる。 ・在園児以外の一時預かり保育事業や土曜日の園庭開放なども検討する。

<p>地域連携の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高松市主催の設置者・園長研修会や保・こ・幼・小教員研修会等の機会に積極的に情報交換をし、相互理解を図る。同地域内の施設同士で協力し合えるよう近隣の小学校・保育所との連携を深めていく。 ・ホームページ等で園の情報を発信し、地域の高齢者との交流会を実施したり園行事にお招きしたりすることで、本園への理解を促進していく。多くの人に園のことを知ってもらう為に、ホームページをスマホ対応仕様に変えることを検討。
<p>自己評価・自己点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営と教育・保育、両面からの適切な評価・点検を行う。PTAが実施する保護者アンケートの結果も園評価の一つと受け止め、改善に役立てていく。その他の第三者評価の実施も検討する。 ・県と市からの監査指摘事項を運営の改善に役立てる。

5. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められた。